

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月17日更新

事務事業名	合志市エコまつり運営事務事業					<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画	政策	2	緑豊かな環境と共生するまちづくり			所属部	総務部	課長名	北里 利朗
体系	施策	8	廃棄物の抑制とリサイクルの推進			所属課	環境衛生課	担当者名	泉田 聡
	基本事業	20	ごみの発生抑制			所属班	環境衛生班	(内線)	1145
予算科目	会計一般	4	2	1	11486	法令根拠	合志市廃棄物の処理及び清掃に関する条例	成果優先度評価結果	⑤
								コスト削減優先度評価結果	⑨
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 26年度で終了 <input type="checkbox"/> 26年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	市民がライフスタイルの見直しを考え、地球温暖化防止、ごみ減量やリサイクルの推進を図り、循環型社会の実現を目指す目的で、平成15年度から菊池環境保全組合の構成団体(合志市、菊池市、大津町、菊陽町、環境保全組合)で開催してきたが、平成21年度より各自治体単位で開催することとなった。参加者に、環境保全・地球温暖化防止・リサイクルの推進・ごみ減量化に向けた取り組みを周知していく。平成24年度からは、環境団体で組織する実行協議会を設置し、市民と協働によりイベント作りを行っている。
【業務の流れ】	合志市エコまつりの計画・運営(会場等の手配、協力団体との出展内容打合せ、広報・周知、会場設営及び撤収、エコまつり開催、支払い事務、実施報告)
【主な予算費目】	職員手当、需用費、役務費(切手代)、委託料
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	参加者から、エコまつりを楽しみにしている、毎回参加しているといった意見がある。また、毎年継続して実施して欲しいとの意見がありました。他の行事と共催することで参加者を増やせるとの意見があった。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO)	27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
地球温暖化防止やごみ減量化を啓発するためエコまつりの計画・運営を行った。平成26年度は、合志市秋祭りと同様開催にて行った。	平成27年度も何らかのイベントと同時開催にて行う予定。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア エコまつり運営業務の執行時間	時間: 職員手当等の減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
市民	(単位) 人
	→ ア 人口
	→ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
ごみ減量化を図る。	(単位) 人
	→ ア エコまつり参加者数
	→ イ ごみの量
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠	
エコまつりは多くの市民に参加してもらい、環境保全・地球温暖化防止・リサイクルの推進・ごみ減量化を図ることが目的であり、成果指標を「環境フェスタ参加者数」、「ごみの量」とした。目標値の参加者数については、平成23年度開催の実績を考慮し「2,000人」、ごみの量については、ごみ減量化計画に基づき「10,000t」と設定した。	
	総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移	単位	24年度	25年度	26年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア 時間	696	527	350	530	350	350	350	350
	イ								
② 対象指標	ア 人	57,367	58,237	58,900	59,067	59,200	60,100	60,900	61,500
	イ								
③ 成果指標	ア 人	500	2,000	2,000	3,000	2,000	2,000	2,000	2,000
	イ t	13,332	13,581	10,551	13,741	10,000	10,000	10,000	10,000
投資入費量	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	繰入金	千円							
	一般財源	千円	886	890	997	834	984	900	900
	(A) 事業費計	千円	886	890	997	834	984	900	900
(A)のうち指定経費	千円	35	47	40	0	27	40	40	40
	(A)のうち時間外、特勤	千円	35	47	40	0	27	40	40
人件費	正規職員従事人数	人	7	9	7	6	7	7	7
	延べ業務時間	時間	696	531	1,000	374	1,000	1,000	1,000
(B) 人件費計	千円	2,833	2,115	3,984	1,490	3,984	3,984	3,984	
トータルコスト(A)+(B)	千円	3,719	3,005	4,981	2,324	4,968	4,884	4,884	900

事務事業名	合志市エコまつり運営事務事業	所属部	総務部	所属課	環境衛生課
-------	----------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は26年度の後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 合志市秋祭りと同日開催となった今年度のエコまつりは入場者数を大幅に伸ばすことができ、市民への啓発を図ることができた。
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 平成27年度も、他のイベントと同時開催することで目標を達成できる。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 市内の環境団体や事業所との他のイベントとの連携により、成果向上の余地有り
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に環境に関する市のイベントがない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 環境団体や事業所には無償で協力いただいている。集客を図り、環境問題に関し、市民の理解と認識を得るには、事業費の削減は困難であるが、市の他のイベントと同時開催することで委託料の削減は可能と思われる。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 会場設営や講演依頼などは委託する。エコまつり実行協議会を組織し開催するが、主管課として事業の説明や、周知に関する事務事業、開催準備、開催当日の案内等、課員全員の出席が必要であり削減の余地はない
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 市民が対象であるので適正である
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 団体が協力できる分は、お願いしている。環境問題は多岐にわたるので、行政が主導で行うべき事務と事業所や市民団体ができるものは区別して実施している。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

平成26年度は「合志市秋祭り」と同日開催したため、参加者数が予想を大幅に上回り、啓発に貢献した。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>今後も毎年、エコまつりを開催することで市民の環境問題意識への啓発を図る機会として定着させる。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p> <p>他のイベントと併せて開催することで、経費の削減と集客の増加を図ることができる。</p>																						